

2 公民

科目名	現代社会	単位数	2	学年	第1学年	科	全科
使用教科書	高等学校 新現代社会（第一学習社）			副教材	教師作成プリント		

学習の到達目標

1. 広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する力を育てる
2. 自ら人間としてのあり方・生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力・態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	第1編 わたしたちの生きる社会 ①環境と私たちの生活 ②資源・エネルギー問題と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな地球環境の問題の国際的な取り組みについて学習し、人間の生活と環境問題を関連させて学習する。 ・エネルギー利用の変化と需給・原子力発電の課題・新エネルギーについてなどの資源・エネルギー問題と自らの生活のあり方を学習する。
	5		
	6	<p style="text-align: center;">中間試験</p> 第2編 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と日本の安全保障 ③冷戦終結後の防衛問題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定と3つの基本原則を学習し、明治憲法と比較してどのような点で異なっているかを理解させる。また、憲法と自衛隊めぐり問題・非核三原則・日米安全保障体制と日本の安全保障について学習する。
	7	<p style="text-align: center;">期末試験</p> ④平等に生きる権利と自由に生きる権利 ⑤豊かに生きる権利	
二 学 期	9	⑥新しい人権 ⑦基本的人権と公共の福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の保障・人権の国際的保障・法の支配について学習する。
	10		
	11	⑧国会の運営と権限 ⑨内閣と行政の民主化 ⑩裁判所と人権保障 ⑪法と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・国会（国民権と議会制民主主義のしくみ・国会の種類と運営・衆議院と参議院の違いなど）・内閣（議院内閣制のしくみ・行政の民主化を実現についてなど） ・裁判所（司法権の独立・最高裁の役割・三審制など）の各権限とその役割について学習する。
	12	⑫地方自治と住民の福祉 ⑬選挙制度の現状と課題 ⑭世論の形成と政治参加	
三 学 期	1	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済と私たちの生活 ②経済体制の変容 ③現代の企業 ④市場のしくみ ⑤経済成長と景気変動 ⑥財政のしくみと税金	<ul style="list-style-type: none"> ・現実市場のしくみについて学習する。なお、市場の基本である「需要と供給の関係」について理解させる。 ・現代の企業とその活動について学習する。 ・政府の経済的役割とその見直し・財政と金融のしくみ・財政政策・日本銀行の金融政策・金融の自由化とその課題について学習する。 ・政府の経済的役割と財政問題について学習する。
	2		

	3	<p>⑦金融機関のはたらき</p> <p style="text-align: center;">[学年末試験]</p> <p>⑧戦後日本経済のあゆみ ⑨日本経済の現状と展望 ⑩技術革新の進展と産業構造の変化 ⑪中小企業の現状と役割 ⑫食の安全とこれからの日本の農業 ⑬雇用と労働問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦後の日本経済の発展・現在の課題について学習する。 ・日本経済の現状を把握し、改善すべき課題について学習する。 ・産業構造の高度化により社会はいかに変化したかを学習する。 ・日本の中小企業は、どのような立場にあるのかを理解する。 ・日本の農業の現状とその課題・雇用事情の変化と問題点・公害問題の原因やそれに対する企業の責任・政府の公害防止対策などを学習する。
--	---	---	--

学習評価

<p>1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。</p>
--